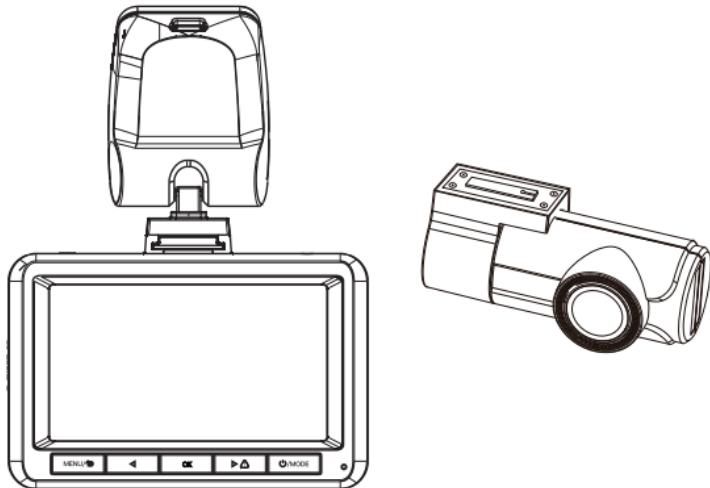


d zur

前後同時録画ドライブレコーダー

DRX-GFR01

取扱説明書



保証書別添付

この度は、ドライブレコーダーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受取りください。

目次

はじめに

■ 安全上のご注意(必ずお守りください)	1~3
■ 使用上のご注意(必ずお守りください)	4
■ 商品構成一覧表	5
■ 各部の名称と働き	6

準備

■ microSDカードについて	8
■ 本機の取り付け	9~10
■ リアカメラの取り付け	11
■ 電源オン/オフについて	12

操作方法

■ 画面表示モード	13
■ 動画記録モード	14~18
■ 静止画モード	19
■ 再生モード	20~21
■ PCと接続する	22
■ PC ピューワーについて	23~24
■ 設定メニュー	25~26

その他

■ トラブルシューティング	27
■ その他	28
■ 仕様	29

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品とは異なる場合があります。
- 各画面写真はハメコミ画合成で、色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。

交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしてはいけない事項
	強制	必ず守るべき事項

警告

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

- 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。(ヒューズ:2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

- 運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

- ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

- 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

- 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

- ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

- !
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- !
煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。
●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- !
あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

- !
被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

- !
取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

DC12V/24Vマイナスアース車で使用する

- !
DC12V/24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

分解や改造はしない

- !
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

- !
内部に金属物や燃えやすいものなどがあると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子  を外しておく

- !
バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- !
取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車載用以外には使用しない

 車載用以外(例えばレジャーポートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

強い衝撃を与えない

 落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり
傷つけない

 ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けない

 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる事があります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の
多い場所に取り付けない

 雨や洗車などで水がかかつたり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

 強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落すなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

 車載用以外には使用しない強い衝撃を与えない雷が鳴り出したら、シガーコードアダプターには触れないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔を塞がない

 本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況において映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

⚠️ 警告

取付中はエンジンを切る

⚠️ 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態で取り付けると、燃耗及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない

⚠️ 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります

⚠️ トンネル出入時のように、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする

⚠️ 車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

信号機の色を認識できないことがあります

⚠️ LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

商品構成一覧表

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認して下さい。

標準品

■ 本体



■ リアカメラ



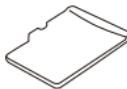
■ GPSスタンド



■ シガーアダプター



■ microSD カード(16GB)
(本体に挿入済み)



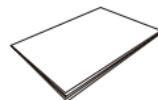
■ 保証書



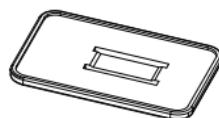
■ リアカメラ接続ケーブル(約6m)



■ 取扱説明書



■ リアカメラ取り付けステー



⚠ 使用上のご注意

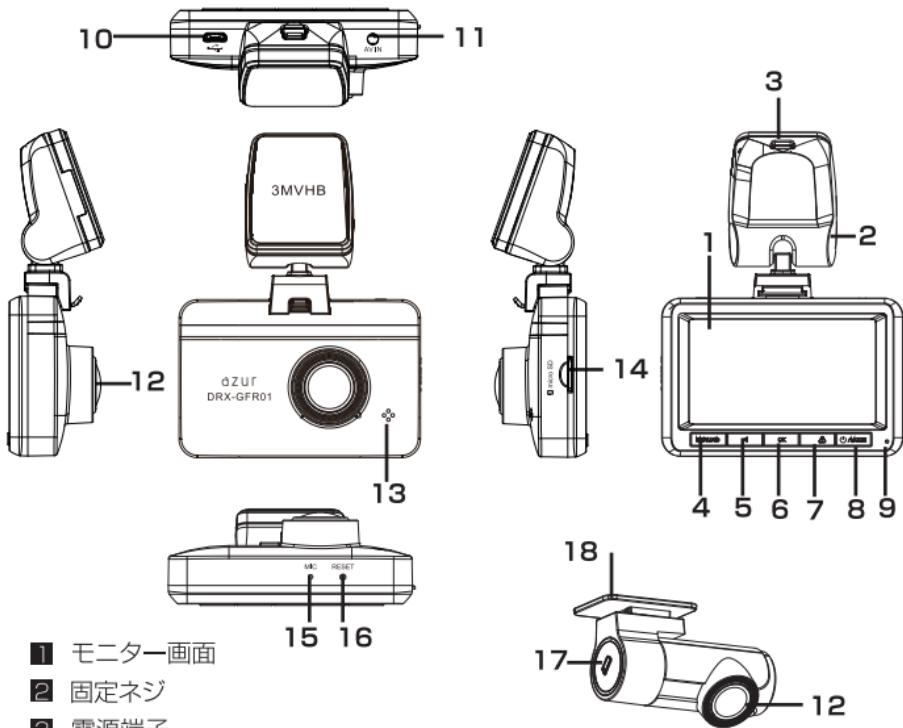
1 シガーアダプターについて

- 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- 長期間本機を使用しない場合、シガーアダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

2 GPSスタンド・リアカメラ取り付けステーの使用について

- 付属のGPSスタンド・リアカメラ取り付けステーは運転に支障をきたさない位置、また、エアバッグなどの安全装置の動きを妨げないようにお取り付けください。
- 取り付ける前に、ガラスの表面を綺麗にしてください。ほこり・異物は両面テープに影響があり、落下・脱落する恐れがあります。

各部の名称と働き



1 モニター画面

2 固定ネジ

3 電源端子

電源ケーブルを差し込みます。

4 MENU/戻る/画面表示モード切替ボタン

・短押し(録画停止時)：各メニュー画面を表示します。

もう一度押すと、前の画面に戻ります。

・約3秒間長押し(録画中)：画面表示モードを切替えます。

※画面表示モードは以下の順番で切替ります。

【フロント+リア(ワイプ)⇒リア+フロント(ワイプ)⇒フロント⇒リア⇒2画面表示】

・フロント+リア(ワイプ)：フロントカメラは全画面、リアカメラは右上に表示。

・リア+フロント(ワイプ)：リアカメラは全画面、フロントカメラ画面は右上に表示。

・フロント：フロントカメラのみ全画面に表示。

・リア：リアカメラのみ全画面に表示。

・2画面表示：リアカメラ画面は左半分、フロントカメラは右半分に表示。

5 カーソル(前へ)/録音オン・オフボタン

・各メニュー画面時：カーソル(前へ)移動します。

・動画記録モード時：音声録音のオン/オフを切り替えます。

各部の名称と働き

6 OK(確認)ボタン

- ・各メニュー画面時：項目や設定値を決定します。
- ・動画記録モード時：録画を開始/停止します。
- ・緊急録画時：緊急録画を停止します。
- ・静止画撮影モード時：静止画を撮影します。
- ・再生モード時：ファイルを再生/一時停止します。

7 カーソル(次へ)/緊急録画ボタン

- ・各メニュー画面時：カーソル(次へ)移動します。
- ・短押し(録画中)：緊急録画が開始されます。

8 電源/MODEボタン

- ・約3秒間長押し：電源オン/オフ
- ・短押し(録画停止時)：動画記録モード/静止画モード/再生モードを切替えます。

9 動作ランプ

本機動作状態を表示します。

10 microUSB端子

パソコンに接続する時に使用します。※電源接続端子ではありません。

11 リアカメラ入力端子

リアカメラを接続します。

12 カメラレンズ

13 スピーカー

14 microSDカードスロット

microSDカードを挿入します。

15 マイク

周囲の音声を録音します。※録音オフに設定した場合は機能しません。

16 リセットボタン

本機の設定をリセットします。

17 リアカメラ電源ケーブル差込口

18 リアカメラ取り付けステー

ご注意：

工場出荷時は、レンズに保護フィルムが貼ってありますので、ご使用の前に剥がしてください。

microSDカードについて

以下の手順に従って、microSDカードの取り外しおよび挿入を行ってください。

⚠ 注意 記録されたファイルを消失しないように、別の記憶装置に定期的にバックアップしてください。

microSDカードを取り外す



本機の電源がオフになっていることを確認してから、カチッという音が聞こえるまでmicroSDカードを挿入すると、microSDカードが取り外すことができます。

⚠ 警告 本製品の電源がオンになっているときにmicroSDカードを取り外すと、データの破損や本機が故障する恐れがあります。

microSDカードを取り外す際、飛び出しがありますので、紛失にご注意ください。

microSDカードを挿入する



microSDカードの向きを確認して、カードスロットに差し込みます。
カチッという音が聞こえるまで確実に差し込んでください。

⚠ 警告 本製品の電源がオンになっているときにmicroSDカードを挿入すると、データの破損や本機が故障する恐れがあります。

<microSDカードをご使用になる前に、次の内容を確認してください>

- 付属のmicroSDカードを使用してください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- 本体の電源が入った状態で、microSDカードの抜き差しをしないでください。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットから電源アダプターを抜き、本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。
- 必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してから、microSDカードを取り出してください。
- 動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと、ファイルやカード自体が破損する恐れがあります。
- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをお勧めします。
- フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 思ぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをお勧めします。
- 市販のmicroSDカードによっては、認識しない場合があります。
- 本機は、8GB~64GB(Class6以上~Class10)のmicroSDカードに対応しています。ただし、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- UHS-I規格の製品は、Class10互換を認めていても動作しない場合があります。また、UHS-IIやU3規格の製品は対応していませんので、カードご購入に際しては互換性にご注意ください。
- microSDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカーティエラーや消費電力が増加する場合があります。
- microSDカードの消耗により起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- 重大な事故などで電源が断たれた場合には、撮影ができなくなります。また、microSDカードに記録されているデータが破損してしまう可能性があります。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。ただし、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードは定期的なフォーマットをお勧めします。フォーマットをしないと、正しく録画できない場合があります。※推奨1ヶ月ごと

本機の取り付け

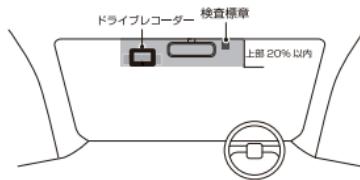
次の手順に従って、本製品を正しく取り付けしてください。

⚠ 取り付け上のご注意

- 本機を取り付ける前に安全な視野を確保して、性能を十分に発揮するため、以下の内容をご確認の上、取り付けてください。指定位置以外に取り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかつたり、整備不良の対象となる場合があります。
- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しく取り付けてください。
- 車に取り付ける際には、運転の妨げとなる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- フロントガラスの上部20%の範囲以内に取り付けてください。
- フロントガラス以外には取り付けないでください。
- 湾曲している面には取り付けないでください。固定されず、脱落する可能性があります。
- 同梱品の取り付けステーは両面テープで固定されます。一度取り付けると取り外しが難しくなります。ご注意ください。
- 同梱品のシガーアダプター以外のものを使用しないでください。
- ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。降雨時など鮮明に記録できます。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、絶対に取り付けないでください。事故の際、安全装置が動かず、けがの原因となります。
- 取り付けの際は、レンズを傷つけないように注意してください。
- レンズの汚れが目立つ時は、乾いた布で軽くレンズを拭いてください。

*濡れた布や傷がつきやすい布等で拭かないように注意してください

推奨取り付け位置



フロントガラスの中央部(ルームミラーの後方)に設置すると、最適な映像を撮影することができます。
※中央部に設置できない場合は、映像が片方に寄る場合があります。
※運転手の視界を妨げない位置に設置してください。
取り付け許容範囲内に取り付けてください。
※視界の妨げにならず、フロントガラス上部からフロントガラス全体の20%以内

取り付けの前に(GPS受信について)

本機はGPS機能を搭載しており、以下の取り付け手順に沿って取り付けをすることにより、GPS測位（受信）が早まる場合があります。

- 1) 取り付け位置を決めた後、GPSスタンドを設置します。
- 2) ドライブレコーダー本体を取り付けてください。
- 3) 電源ケーブルとGPSスタンドを接続してください。
※エンジンがオフになっていることを確認してから電源ケーブルを接続してください
- 4) エンジンをオン（またはアクセサリー電源をオン）にします。
- 5) 本体起動後、電源ボタンで本体電源をオフしてください。
- 6) 約1分間、その状態で放置します。
- 7) その後、本体電源ボタンを押して起動させてください。

*トンネル内やビル群、山間部などGPS電波を遮るような環境では受信しにくい場合がありますので、そのような場合は上記の手順をお試しください

本機の取り付け(つづき)

GPSスタンドの取り付け/取り外し



※ジョイントレールの方向にご注意ください。奥まで確実に装着しないと、走行中に落下する恐れがあります。

取り付け前

①GPSスタンドを本体のジョイントレールに合わせて、矢印の方向に[カチッ]と音がするまでスライドさせてください。



取り付け完成

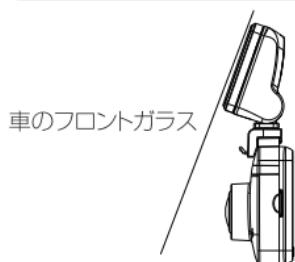
②GPSスタンドのポールジョイントを回して角度を調整できます。GPSスタンド側面のネジを緩める/締めると、ポールジョイントを調整/固定できます。



取り外す

③つまみを押しながら、矢印の方向にスライドして、GPSスタンドを本体のジョイントレールから外してください。

取り付け



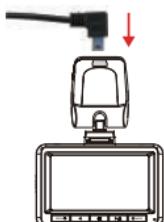
取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油分をきれいに取り除いてください。

GPSスタンドから両面テープの保護フィルムをはがし、フロントガラスへ取り付けます。

モニター画面を確認しながら、本製品の角度を調整します。

- ⚠ 警告**
- 固定力を強くするために、本体を取付後24時間以上放置してから使用してください。
 - 貼り直しはテープの粘着が弱まり、脱落する恐れがあります。
 - GPSスタンドのジョイント部に無理に力を入れないでください。破損することがあります。
 - 確実に装着していないと、走行中に脱落する場合があります。

電源ケーブルの接続

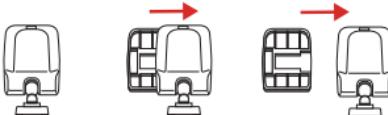


エンジンがオフになっていることを確認してから電源ケーブルを接続します。

電源ケーブルを本機の電源端子に接続します。

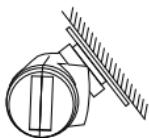
GPSスタンドと台座の取り外し

GPSスタンドの台座を取り外すには、台座部分からGPS本体部分をスライドすることによって取り外すことができます(台座から右にスライドします)。
※無理な力で引き抜かないようにご注意ください



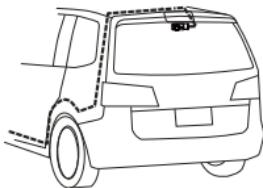
リアカメラの取り付け

取り付けと配線



リアカメラ取り付けステーをリアカメラに取り付け、レンズの角度を調整後、貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後に、両面テープでしっかりと後部ガラスに貼り付けます。

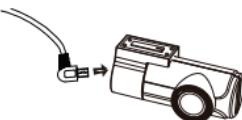
※必ず実際の映像を確認してから、後部ガラスに貼り付けてください。



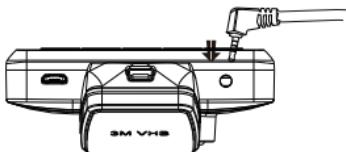
バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線をおこなってください。
リアカメラおよびケーブルに損傷ができると、カメラ内部やケーブルに湿気や水が入り、破損の原因となることがあります。

※左図イラストでは、車内下側を配線していますが、車種によっては、リアカメラケーブルの取り回しにより、車内上部(ルーフ、内張等)を通す必要があります。

リアカメラを接続する



リアカメラの電源端子と付属のリアカメラ接続ケーブルの電源端子を接続します。



リアカメラ接続ケーブルを本製品のリアカメラ入力端子に接続します。

⚠ 注意

- 取り付けの際は、運転や視界の妨げとなる場所には取り付けないでください。
- 取り付け位置によって、太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けをおこなってください。
- リアカメラを取り付ける際は、本製品の液晶画面で映像が上下逆さまになっていないことを確認してください。

電源オン/オフについて

電源をオンにする



約3秒長く押す

<エンジン連動>

エンジンを始動すると本機の電源がオンになります。

<手動操作>

電源ボタンを約3秒間長押しすると、本機の電源がオンになります。

⚠ 注意

●本機はバッテリーを内蔵しておりませんので、電源に接続していない状態で電源をオンすることはできません。

電源をオフにする



約3秒長く押す

<エンジン連動>

エンジンを停止すると、本機の電源がオフになります。

<手動操作>

電源ボタンを約3秒間長押しすると、本機の電源がオフになります。

スクリーンセーバー

本機の操作が一定時間おこなわれない場合、液晶画面を自動的にスクリーンオフすることができます。設定メニュー画面からスクリーンセーバーが動作するまでの時間を1/5/10分間に設定できます。スクリーンオフ後、任意のボタンを押すと、画面が再度表示されます。

スクリーンセーバーの設定方法については「**P25 設定メニュー**」を参照ください。

⚠ 注意 録画中にスクリーンセーバーが働いた場合も、録画は継続されます。

<製品使用上の注意事項>

| エンジン連動ON機能について

本製品は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した場合、エンジン連動で起動しない場合があります。その場合、本体側の電源ボタンで電源を入れるようしてください。また、充電不足もしくは長期間、本製品をご使用にならなかつた場合は、通電を行い、充電をするようお願いいたします。

| アイドリングストップ車での電源OFFについて

アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品の電源がOFFとなる場合があります。その場合、本体側の電源ボタンで電源を入れるようにしてください。

画面表示モード

画面表示モードを切替える

録画中にMENUボタンを約3秒間押すたびに、下図5つの画面表示モードを順番に切替えます。



<1>



<2>



<3>



<4>

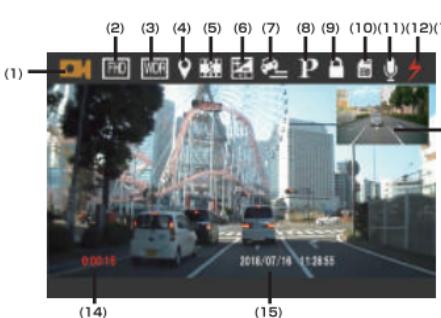


<5>



動画記録モード

動画を録画することができます。



<本機操作>

- 「カーソル◀」ボタン
音声録音のオン/オフを切替えます
- 「緊急録画」ボタン
緊急録画を開始します。
- 「OK」ボタン
録画を開始/停止します。
[緊急録画中]緊急録画を停止します。
- 「MENU」ボタン
[録画中長押し]…画面表示モードを切替えます。
[録画停止中]…設定メニュー(P25)を表示します。
- 「MODE」ボタン
[録画停止中]…モードを切替えます。

(1)動画記録モードアイコン

(2)解像度アイコン

録画解像度を表示します。

FHD 27.5fps: HD 27.5fps:

(3)WDRアイコン

(4)GPSアイコン

GPSの受信状態を表示します。

正常受信: 未受信:

(5)常時録画アイコン

(6)露出補正アイコン

(7)Gセンサーアイコン

Gセンサーの設定値を表示します。

ソフト: ノーマル: ハード: オフ: 非表示

(8)駐車監視モードアイコン

駐車監視モードの状態を表示します。

オン: オフ: 非表示

(9)イベント録画アイコン

イベント録画の状態をアイコン表示します。

イベント録画中(ファイル保護): /常時録画時: 非表示

(10)SDカードアイコン

(11)マイクアイコン

音声の録音状態を表示します。

録音ON: 録音OFF:

(12)通電中アイコン

(13)ワイブ画面

リアカメラの映像が表示されます。

*画面表示モードが<フロント+リア(ワイブ)>
もしくは、<リア+フロント(ワイブ)>に設定されている時のみ。

(14)録画時間

(15)時間表示

動画記録モード(つづき)

録画方式



1.走行モード(エンジンON)

常時録画

設定された1分間/3分間/5分間のループで録画します。microSDカードの容量が上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きされます。
※ループ録画時間の設定方法については、「**P25 設定メニュー**」を参照ください。

衝撃感知録画 <イベント録画🔒> ※衝撃感知はフロントカメラのみ作動し、リアカメラは作動しません
常時録画中に、本機に搭載されたGセンサーが衝撃を感じると、自動的に映像を録画します。
※録画された映像ファイルは保護(ロック)されます。
※Gセンサーをオフに設定すると、衝撃が感知できず、衝撃感知録画が開始されません。
Gセンサー感度を設定する方法は「**P25 設定メニュー**」を参照ください。
※イベント録画の保存ファイルについては「**P16 イベント録画の保存ファイルについて(1)**」を参照ください。

緊急録画(手動) <イベント録画🔒>

常時録画中に、緊急録画ボタン「▶▲」を押すと、緊急録画が開始されます。
録画が開始されると、本機の液晶画面に「このファイルをロックします!」と
メッセージが表示され、右上に「🔒」アイコンが表示されます。
※録画された映像ファイルは保護(ロック)されます。
※イベント録画の保存ファイルについては「**P16 イベント録画の保存ファイルについて(1)**」を参照ください。

2.駐車監視モード(エンジンOFF)

衝撃感知録画 <イベント録画🔒> ※衝撃感知はフロントカメラのみ作動し、リアカメラは作動しません
エンジンを停止して本機の電源がオフになった後でも、本機に搭載された
Gセンサーが衝撃を感じると、自動的に衝撃感知後の映像を15秒間録画します。
※録画された映像ファイルは保護(ロック)されます。
※Gセンサーをオフに設定すると、衝撃が感知できず、駐車監視モード中でも衝撃感知録画が
開始されません。Gセンサー感度を設定する方法は「**P25 設定メニュー**」を参照ください。
※駐車監視モードについては、「**P18 駐車監視モードについて**」を参照ください。

⚠ 注意 駐車監視モードを使用するには別売りの常時電源ケーブル「DRC-P01」が必要です。

動画記録モード(つづき)

イベント録画の保存ファイルについて(1)

イベント録画開始の時点により、保護(ロック)される映像ファイル数が異なります。

(例)

- 常時録画の時間設定を「1分」に設定時、動画①⇒②⇒③…とループ録画し続けます。
- 動画②のループ内に事故が発生し、Gセンサーが衝撃を感知、イベント録画が開始されます。
※下図★1/★2/★3は緊急録画の開始時点。



- ・★1の時点(動画の最初の20秒以内)で事故が発生した場合。
動画①+動画②の合計2つの映像ファイルが保護(ロック)されます。

- ・★2の時点(動画の最初の20秒と最後の20秒以外)で事故が発生した場合。
動画②の映像ファイルのみ保護(ロック)されます。

- ・★3の時点(動画の最後の20秒以内)で事故が発生した場合。
動画②+動画③の合計2つの映像ファイルが保護(ロック)されます。

緊急録画(手動)の場合



- ・★1の時点で緊急録画ボタンを押した場合。
動画①+動画②+動画③の合計3つの映像ファイルが保護(ロック)されます。

⚠ 注意

- イベント録画では、フロント/リアカメラの映像が録画されます。
ただし、リアカメラの録画秒数はフロントカメラより約3~5秒短くなります。

動画記録モード(つづき)

イベント録画ファイルの保存について(2)

イベント録画で保護(ロック)されたファイルは「Event」というフォルダーの中に保存されます。

※「Event」フォルダーの中にフロントカメラ(F)とリアカメラ(R)両方の映像ファイルが保存されます。

※保護(ロック)について

→イベント録画されたファイルはEVENTフォルダ内に入り、上書き設定をオンにしない限り、イベントファイルが消えることはありませんので、保護(ロック)と表現しています。



Event

→イベント録画されたファイル

※カード容量の約29%



Normal



→フロントカメラ



Photo



→リアカメラ

イベント録画された映像ファイルがmicroSDカードの容量の約29%の上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きするかどうかを設定することができます。

※イベントファイルの上書きを設定する方法は「**P26 設定メニュー**」を参照ください。

⚠ 注意

- イベントファイルの上書き設定(緊急録画設定)を変更した場合、一度、本体を再起動しないと設定が有効となりませんので、ご注意ください。

⚠ 注意

- イベント録画された映像ファイルを上書きしないように設定すると、カードの容量がいっぱいになり、録画ができなくなる場合があります。必要に応じて、ファイルを削除、あるいはmicroSDカードの内容をバックアップして、microSDカードのフォーマットをおこなってください。

※microSDカード内のファイルを削除する方法は「**P20 再生モード**」を参照ください。

※microSDカードをフォーマットする方法は「**P26 設定メニュー**」を参照ください。

最大録画可能時間について

<常時録画> : 16GB:約1時間10分 32GB:約2時間20分

<イベント録画> : 16GB:約30分 32GB:約1時間

※目安の数値となります。最大録画可能時間は録画環境などにより変動します。

動画記録モード(つづき)

駐車監視モードについて

エンジンを停止して本機の電源がオフになった後でも、衝撃を感じると感知後の映像を録画することができます。駐車監視モードで録画された映像ファイルは保護(ロック)されます。

駐車監視モードを作動させる

- 本機の電源がオンの時にエンジンを停止すると、駐車監視スタンバイモードが作動します。
- 駐車監視スタンバイモード作動中にGセンサーが衝撃を感じると、感知後の映像を約15秒間録画し、その後、再び駐車監視スタンバイモードに入ります。

注意

- 駐車監視モードを使用するには別売りの常時電源ケーブル「DRC-P01」が必要です。
- 駐車監視モードがオフに設定されている場合、駐車監視モードは作動しません。

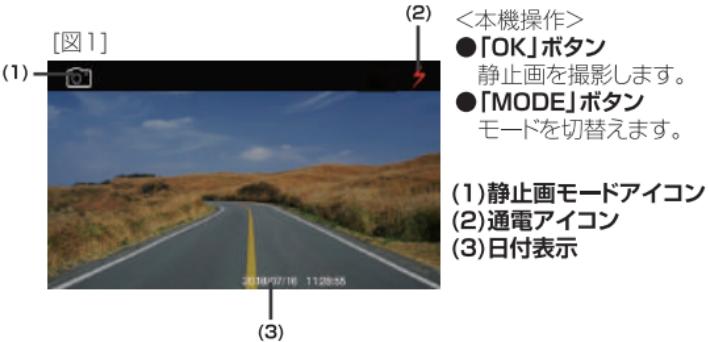
駐車監視モードからの復帰

- エンジンを始動すると、駐車監視モードが解除され、常時録画が開始されます。

静止画モード

静止画を撮影することができます。

静止画撮影画面



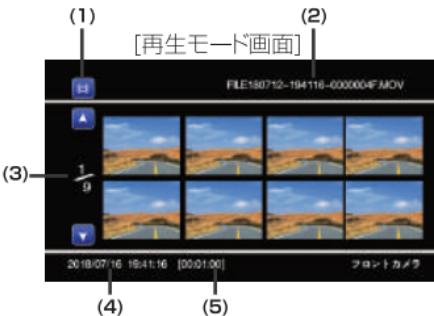
⚠ 注意

- 静止画解像度は「フロント：1980×1080」「リア：1280×720」固定となります。
- 静止画撮影をする際、画面はフロント+リア（ワイプ）画面となります。
- 走行中に静止画撮影を行うと、被写体がブレる場合があります。

再生モード

撮影した動画もしくは静止画ファイルを本機で再生させることができます。

再生モード画面と再生メニュー画面



<本機操作>

●「カーソル」ボタン

- [再生モード画面]…ファイルを選択します。
- [再生メニュー画面]…設定項目を選択します。

●「OK」ボタン

- [再生モード画面]…選択されたファイルを再生します。
- [再生メニュー画面]…設定を変更します。

●「MENU」ボタン

- [再生モード画面(短押し)]…再生メニュー画面を表示します。

[再生モード画面(長押し)]…フロント/リアカメラの映像を切替えます。

[再生メニュー画面]…前の画面に戻ります。

●「MODE」ボタン

- [再生モード画面]…モードを切替えます。

[再生メニュー画面]



(1) 再生モードアイコン

(2) ファイル名

(3) ページ数

(4) 撮影日付

(5) 再生時間

1 動画タイプ

再生モード画面で表示するファイルの種類を選択します。

- ・通常…常時録画で撮影されたファイルを表示。
- ・SOS…緊急録画で撮影されたファイルを表示。
- ・静止画…静止画を表示。

2 削除

ファイルを削除します。

- ・1つのファイル：1つのファイルを削除。
- ・全ファイル：すべてのファイルを削除。

3 保護

ファイルを保護(ロック)します。

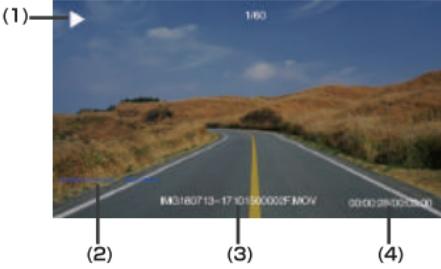
- ・1ファイル保護：1つのファイルを保護(ロック)。
- ・全ファイル保護：すべてのファイルを保護(ロック)。
- ・1ロック解除：1つのファイルの保護(ロック)を解除。
- ・全ロック解除：すべてのファイルの保護(ロック)を解除。

⚠ 注意

- メニュー画面が表示された状態で本機の操作が約1分間おこなわれなかった場合、自動的に常時録画が開始されます。

再生モード(つづき)

動画再生画面



<本機操作>

- 「カーソル」ボタン 前/次のファイルを再生します。
- 「OK」ボタン 再生/一時停止をおこないます。
- 「MENU」ボタン 前の画面に戻ります。

- (1)再生/一時停止アイコン
- (2)撮影日時
- (3)ファイル名
- (4)再生時間

静止画再生画面



<本機操作>

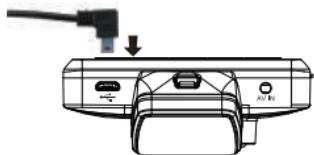
- 「カーソル」ボタン 前/次のファイルを再生します。
- 「MENU」ボタン 前の画面に戻ります。

- (1)ファイル名
- (2)撮影日時

PCと接続する

本機とPCを接続して、保存したファイルを確認することができます。

microUSBケーブルの接続



エンジンがオフになっていることを確認してから、市販のmicroUSBケーブルを本機とPCに接続します。



本機がPCに接続されている時は左図の画面になります。

- 下記のフォルダーがPC上に表示され、任意のファイルを選択すると、ファイルが再生されます。

	Event	→ イベント録画
	Normal	→ 常時録画
	Photo	→ 静止画

	F	→ フロントカメラ
	R	→ リアカメラ

PCビューアーについて

専用のアプリケーションを使用すると、録画した映像をPC上で表示再生ができます。

PC動作環境

PCビューアーを実行するための動作環境は以下のとおりです。

●OS:Windows7、8、10、11（32bit/64bit）

※Macには対応していません。

※全てのパソコンにおいての動作を保証するものではありません。

※パソコンの処理能力により、お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

PCビューアーのダウンロード

下記弊社ホームページよりダウンロードをおこなってください。

[URL]

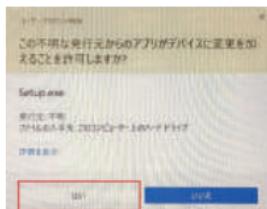
https://innovativesale.co.jp/DRX-GFR01/software/DRX-GFR01_PCviewer.zip

PCビューアーのインストール

- 1.ダウンロードされたファイルを解凍すると、左記のファイルが表示されます。



Setup.exe



- 2.「Setup.exe」をダブルクリックすると、Windowsシステムのユーザー アカウント制御の確認画面が表示されます。
「はい」をクリックすると、PCビューアーが自動的に起動します。

PCビューウーについて(つづき)

PCビューウー画面



- 1:映像表示画面
2:映像画面表示拡大
3:フロント/リア映像切り替え
4:地図(走行軌跡)
5:速度表示
6:再生時間
7:緯度経度
8:再生操作
9:Gセンサーで記憶されているX軸、Y軸、Z軸への加速度を表示
10:連続再生切り替え/再生速度切り替え/音量調節
11:録画ファイルカタログ
12:再生ファイルリスト

*GPS信号を受信していない場合、緯度経度、地図上の走行軌跡、速度は表示できません

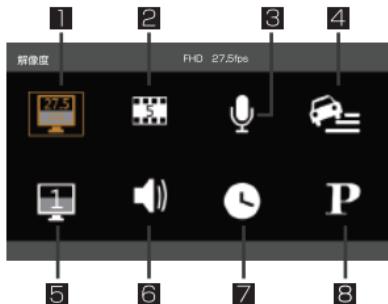
注意事項

- ・パソコンのスペックにより、動作しない場合があります。
- ・ホームページに記載のあるパソコンのスペックを満たしている場合であっても、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
- ・OSのアップグレード環境、マルチブート環境での動作は保証しておりません。
- ・自作パソコン、タブレットパソコンでの動作は保証しておりません。
- ・パソコンの環境によっては、SDカードが認識できなかつたり一部機能をご利用頂けないなどの症状が発生する場合があります。その際の損失やその他直接もしくは間接的な障害等につきまして、当社および販売店等に故意または重大過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・パソコン、周辺機器環境等に関するお問い合わせは、パソコン各メーカー、周辺機器各メーカーまたは販売店にお問い合わせください。
- ・インターネット環境が必要となります。
- ・地図表示内容は予告なく仕様変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

設定メニュー

本製品の各種設定(撮影記録設定/システム設定)を行ないます。

設定メニュー



動画記録モード時(録画停止時)に本機の「MENU」ボタンを押すと、設定メニュー画面が表示されます。

<本機操作>

●「カーソル」ボタン

設定項目を選択します。

●「OK」ボタン

設定を変更します。

●「MENU」ボタン

前の画面に戻ります。

① 解像度

動画撮影解像度を設定します。

<フロントカメラ>

・FHD 27.5fps

・HD 27.5fps

※リアカメラはHD 30fps固定となります

② ループ録画

常時録画時に保存される1ファイルあたりのループ記録時間[「1分」「3分」「5分」]から選択します。

③ 音声録音

録画中の音声録音のオン/オフを選択します。

④ Gセンサー

衝撃感知録画が作動するGセンサー感度を設定します。

ソフト：高感度(弱い衝撃で作動)

ノーマル：通常の感度

ハード：低感度(強い衝撃で作動)

オフ：Gセンサーをオフにします。

⑤ スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの設定時間を[「1分」「5分」「10分」「オフ」]から選択します。

⑥ ピープ音

本体操作音のオン/オフを選択します。

⑦ 日時設定

日付と時刻を手動で設定します。

※GPS受信中は日時設定の変更はできません。

⑧ 駐車監視モード

駐車監視モード設定のオン/オフを選択します。

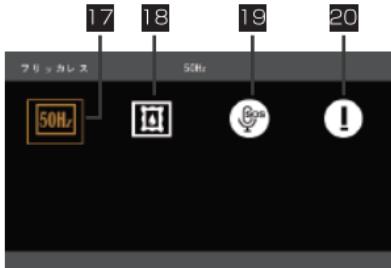
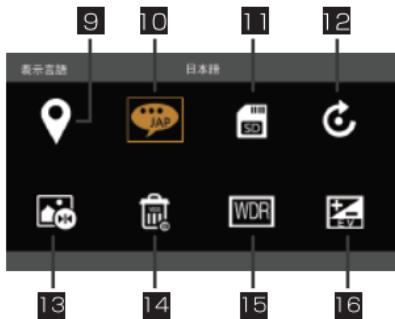
※オフにすると駐車監視モードは作動しません。

※駐車監視モードを使用するには別売りの常時電源ケーブル「DRC-P01」が必要となります。

⚠ 注意

- メニュー画面が表示された状態で本機の操作が約1分間おこなわれなかった場合、自動的に常時録画が開始されます。

設定メニュー(つづき)



9 GPS情報

GPSの受信レベルを表示します。

10 表示言語

表示言語を「日本語」「English」「China」から選択します。

11 フォーマット

microSDカードに記録されたファイルを全て削除します。

※保護ファイルも削除します。

12 工場出荷状態

本機の設定を工場出荷時状態に初期化します。

13 リアカメラ正像/鏡像

リアカメラの映像を画面に表示する際の表示方法を選択します。

※鏡像に設定した場合でも、保存される映像は正像表示となります。

14 緊急録画設定

microSDカードの容量がいっぱいになった場合、保護(ロック)されたファイルを古いファイルから自動的に上書きするかどうかを設定します。

・オン：自動で上書きします。

・オフ：上書きしません。

※オフに設定した場合、microSDカードの容量がいっぱいになると録画ができなくなり、エラーが表示されます。

※本設定は、設定変更後、本体を再起動しないと有効になりません

15 WDR

WDR(ワイドダイナミックレンジ)のオン/オフを選択します。

※WDRとは…逆光などの明暗差の激しい場面で、映像の白飛びや黒つぶれを軽減します。

16 露出補正

記録される映像の露出(明るさ)のレベルを設定します。(−2～+2)

17 フリッカレス

撮影時にLED信号灯などのちらつきを防止します。

・50Hz：東日本地域は50Hzに設定してください。

・60Hz：西日本地域は60Hzに設定してください。

18 日付プリント

映像ファイルに撮影日時を記録するかどうかを設定します。

・ON：映像ファイルに撮影日時が記録されます。

・OFF：映像ファイルに撮影日時を記録しません。

※OFFに設定した場合でも、撮影画面には日時が表示されます。

19 SOS録音

緊急録画時の音声録音のオン/オフを設定します。

・オン：P25「音声録音」の設定がオフになっている場合でも、緊急録画時には、強制的に音声の録音をおこないます。

・オフ：緊急録画時でも音声の録音をおこないません。

※本機能は、「音声録音」設定がオフの場合のみ、設定することが可能となります

20 バージョン

ソフトウェアのバージョンを表示します。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認して下さい。
下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

こんなとき	原因と対応
●電源が入らない。 ●電源が落ちてしまう。	●シガーアダプターや接続ケーブルの接続不良の可能性があります。 →シガーアダプターや接続ケーブルを一度外してから、再度接続し直してください。 ●スーパー・キャビンターの充電が十分でない可能性があります。 →下記の「スーパー・キャビンターについて」を参照してください。 ●電源を入れるタイミングにより、電源が入らない時があります。 →スーパー・キャビンターの特性上、機器の保護のため、一定の時間、電源が入らないよう設計されています。本機の故障ではございませんので、電源OFF後は10秒以上経ってから電源をONしてください。 ●本機が使用できる温度環境ではない場合があります。 →本機は[-10°C~60°C]温度環境下で使用できます。
●本機の表示や動作がおかしくなった。	●本機のシステムが誤動作を起こしている可能性があります。 →リセットボタンを押し、本機をリセットしてください。
●記録された動画、静止画が表示されない、または壊れている。	●microSDカードの損傷によりカードエラーが発生している可能性があります。 →microSDカードをフォーマットしてください。 →新しいmicroSDカードに差し替えてください。
●記録ができない。	●保護されたファイルがmicroSDカードの上限まで保存されている可能性があります。 →不要なファイルを削除してください。 →新しいmicroSDカードに差し替えてください。
●常時録画ができない。 ●撮影したファイルを本機以外で再生できない。	●本機もしくはパソコン以外ではファイルの再生はできません。 →本機で再生をおこなってください。パソコンで再生したい場合、パソコンのスペックにより再生できない場合があります。
●GPSが受信しない。	●トンネル内やビル群、山間部などGPS電波を遮るような環境では受信しにくい場合がありますので、そのような場合は以下の手順をお試しください。 →P.9「取り付けの前に(GPS受信について)」 ●長期間、本体を使用されなかった場合、GPS受信がリセットされる場合があります。その場合は、以下の手順でGPS受信してください。 →P.9「取り付けの前に(GPS受信について)」
●映像画面が突然赤くなる。	●光源がなく、真っ暗な状態から急に明るい環境になった場合もしくは真っ暗な状態になった場合に一瞬だけ映像画面が赤く表示される場合があります。 ※起動直後、リアカメラ映像が一瞬、赤くなる場合もあります →カメラセンサーの性質であり、本体の異常ではありません。
●他の車載器に影響が出る。(テレビが映らない等)	●高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。 また、ETCアンテナ付近に設置すると誤動作する場合があります。 →テレビ、ラジオ、ETCアンテナ等から50cm以上離して取り付けをするか、アンテナ位置を離してください。 また、車両の各種センサー装置(安全運転支援装置、各種レーダー等)や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。

その他

スーパー・キャパシタについて

本機搭載のスーパー・キャパシタは、急に電源が遮断されたときに現在録画している映像の破損を防ぎ、安全にデータ保護するためのバックアップ用電源です。初めてご使用になるときや長期間使用されていないときは、スーパー・キャパシタの特性上、電気容量が少ない状態となります。その場合は、シガーアダプターによる電源接続後、必ず「3分以上」充電をしてから本機の電源をお切りください。3分未満の充電で電源をお切りになった場合、録画している映像が正しく保存されない場合がありますので、ご注意ください。

リアカメラについて

本製品専用のリアカメラとなります。その他の製品(他社製品含む)に接続すると、故障の原因となりますので、接続しないでください。

SDカードカードフォーマットについて

長期間、SDカードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が発生しやすくなります。
定期的なフォーマット(SDカード内を初期化すること)をお勧めします。

※SDカードについておよびフォーマットについてはP.8を参照してください

※ファイル断片化について

SDカードはNANDフラッシュ及びコントローラで構成されており、不良セクタを含む場合があります。不良セクタにはデータの書き込みは行わされず、繰り返しデータ記録が続けられると、不良セクタの位置の判断ができなくなり、記録できる領域が減少します。また、不良セクタにより、カードエラーや書き込みエラーの原因となる場合があります。

そのため、安定してご使用いただくため、定期的なフォーマットをお勧めしています。

<フォーマット手順>

- 1.SDカードが本体に装着されていることを確認
- 2.録画中の場合、「OK」ボタンを押して、録画停止状態にします
- 3.設定メニュー内にある「カードフォーマット」を選択
- 4.「はい」を選択する

※SDカード内に保存されている録画データが全て消去されますので、大切なデータはフォーマットする前にパソコン等へバックアップしてください

もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

<保管場所について>

SDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・ 静電気が発生する場所
- ・ 水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・ 衝撃を受ける場所(曲げ・折りたむ)
- ・ 腐食性ガスが発生する場所

仕様

【本体】

型番	DRX-GFR01	
商品名	前後同時録画ドライブレコーダー	
記録媒体	microSDカード(8~64GB) ※16GB Class10同梱	
カメラ	映像素子 視野角(レンズ画角)	CMOSセンサー:1/2.7型 (F値:2.0) 水平:115°/垂直:50°/対角:138°
記録解像度	動画 静止画 有効画素数	FHD 1920×1080 HD 1280×720 1920×1080 約200万画素
ループ録画時間	1分/3分/5分	
液晶サイズ	3インチ	
マイク	高感度マイク内蔵	
フレームレート	27.5fps	
スピーカー	1W/8Ω 1個	
音声録音	有り※オン/オフ可能	
記録方法	常時録画 衝撃感知録画 緊急録画(手動) 駐車監視録画(駐車監視・録画ケーブル別売) ※常時電源ケーブル「DRC-P01」	
ファイル形式	動画:MOV 静止画:JPEG	
映像外部入力	専用リアカメラ入力(miniUSB×1)	
記録映像再生方法	PC再生専用ビューアソフト(別途弊社ホームページよりダウンロード)	
画面表示モード	フロント+リア(ワイド)/リア+フロント(ワイド)/フロント/リア/左右セパレート	
電源ケーブル	USB付き電源ケーブル(約3.5m)同梱 ヒューズ容量:2A	
使用電圧	DC12V/24V	
寸法	84.5(W)×55.3(H)×20(D)mm(突起部除く)	
重量	約70g(カード、ステー含まず)	
動作温度範囲	-10°C~+60°C	

【リアカメラ】

カメラ	映像素子 視野角(レンズ画角)	CMOSセンサー1/4インチ(F値:2.5) 対角115°(水平95°/垂直50°)
記録解像度	動画 静止画 有効画素数	HD720P(1280×720) 1280×720 100万画素
フレームレート	30fps	
電源	5V100mA	
使用電圧	DC5V	
寸法	約72.6(W) 直径:28mm(突起部除く)	
重量	約30g(ステー含まず)	
動作温度範囲	-10°C~+60°C	

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にてご注文ください

※本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください

※本紙で使用されている画像・イラストはイメージです。実際の製品や画面とは異なる場合があります

dZUr

輸入元:株式会社イノベイティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

●お問い合わせはサービスセンターへ

電話…048-970-5027

※電話受付時間(土日祝祭日除く)

平日 9:00~12:00 13:00~17:00

<https://innovativesale.co.jp/>

2019.07